

令和6年 第3回甲良町教育委員会本会議議事録

令和6年8月22日（木）、甲良町公民館において、令和6年 第3回 甲良町教育委員会本会議を開催する。

1. 出席委員は、次のとおり

青山教育長、日下和子委員、尾崎隆昭委員、藤真照委員、新家美静委員

2. 委員以外の出席者は、次のとおり

福原教育次長、橋本学校教育課長、大山社会教育課長、山田教育総務課主幹

3. 本会議の日程は、次のとおり

日程番号	議案番号	件名
日程第1		令和6年第2回会議録承認の件（藤委員）
日程第2		会議録署名委員の指名（新家委員）
日程第3		教育長報告
日程第4	議案第1号	令和7年度使用教科用図書採択につき、議決を求めることについて

○青山教育長 それでは、予定の時刻になりましたので、ただいまから令和6年第3回教育委員会本会議を始めます。

まず初めに、日程第1 令和6年第2回会議録承認の件について、藤委員さん、お願いします。

○藤委員 正確に記載されていたことをご報告いたします。

○青山教育長 ありがとうございます。

続きまして、日程第2 会議録署名委員の指名として、新家委員さん、よろしくをお願いします。

○新家委員 はい、了解いたしました。

○青山教育長 続きまして、日程第3 教育長報告をさせていただきます。

少しお時間をください。先般の教育委員会本会議以降からの報告をさせて

いただきます。

まず、学校での行事関係の報告をさせていただきます。

小学校の方は、県の補助を受けながら、5月、6月にたんぼのこ体験授業というのと、やまのこ事業というのをやっています。特にたんぼのこについては、田植体験を各5年生の子を対象にやっています。6月のやまのこ事業につきましては、4年生の子たちを対象にして両小学校とも多賀の高取山の方で、6月6日に東小、6月4日に西小というふうに行事を行いました。

中学校の方では、3年生の修学旅行を6月の12日の水曜日から14日の金曜日にかけて2泊3日で実施しました。東京・関東方面の旅行となりまして、コロナ前の日程に戻し、東京に1日目に入って国会議事堂をはじめとする都内見学、バスでの見学、2日目には都内の班別行動、各グループが計画した見学地を数名のグループで散策すると。午後3時には千葉県のパウゼに集まり、閉園の9時まで、夜の9時まで満喫したと聞いております。3日目、最終日については、千葉の方からバスで横浜へ入り、横浜の中華街で昼食を取り、一息ついたという形です。この旅行で2名の子がちょっと体調不良で現地のホテルで休むということがありました。別行動でしたけども、ほかの生徒は元気に3日間過ごしたんですが、2名の子については、ちょっとホテルでの滞在ということがありました。

中学校2年生ですが、実はこの修学旅行に3年生が行っている間に、ちょうどその期間に6月11日からなんですが、4日間、14日の金曜まで職場体験の実習を行いました。町内をはじめとして近隣市町の事業所に出向いて仕事体験を行いました。

そして中学1年生ですが、これも7月11日でしたけども、中学生議会を実施しました。コロナが明けてから、ちょっと実施する期日はまちまちになったんですけども、今回元に戻して、中学1年生の子どもたちを対象にこの1学期にやるということをございました。中学生議員を13名選出しまして、議長1名と議員12名ということで、町内の道路整備のことや公園の維持管理など多方面にわたった質問をしてくれました。各課の課長補佐さんから答弁をいただきました。

それから、中学校ではこの1学期の終わりに制服の一部改正を行いました。夏に向けてポロシャツを追加導入しました。これまで白のカッターシャツの規定のみでしたけども、機能性とか洗濯の手間なども考慮して、生徒と保護者と学校との協議を経て、この7月からポロシャツを導入しています。

各小中学校については、もう今夏休みに入っているのもうすぐ、来週終わるんですけども、7月20日から夏休みに入っています。中学校は、中学校総体ブロック大会を経て県大会ということで各部活動の大会が行われた

んですが、県大会に出場者したのはバレーボール男子、剣道では個人戦で男子が1名進みましたが、県大会の方では勝ち残れませんでしたので、そこで部活終了と。ほかの子たちも、一応3年生はこの夏の大会で引退しまして、1、2年生だけの活動となりました。

最後に、教育委員会から2つ、ちょっと報告させていただきます。

1つ目は、前も話をさせていただいていた子育て広場についてです。トライグループさんへ業務委託して、長寺、呉竹の両センターを会場にして、4歳、5歳、小学校1年生の児童と保護者を対象とした事業を行うということでしたが、第1回目が7月の20日、夏休みに入ってすぐだったんですけども、土曜日に呉竹センターで、次の週、翌週の土曜日の27日に長寺センターで実施しました。会場を交互に隔週土曜日に行っているんですけども、今現在は呉竹が3回、長寺が2回実施しております。

参加者の方については、ちょっと少ないんですけども、今、東学区の方については、4歳が4名、5歳が2名、小学1年生が3名、西学区の方については、4歳が5名、5歳児が3名、小学1年生が5名、合計すると22名ということで今スタートしています。

また、今後参加者が増えるような広報活動もさせていただきたいというように思っています。ただ、参加された保護者の方と話をすると、こういうような事業を今までしてほしかったということをおられる保護者も参加の方にはおられますので、今後もう少し参加者を増やしていきたいと思っています。

次に、2つ目の報告ですが、PTAについての報告をさせていただきます。前回の本会議でも報告されていましたが、各校園のPTAへの加入は任意であるということで、このPTA総会とか役員会で保護者の皆さんに周知をしたところですが、7月の1学期の終わりにPTAの町PTA協議会、町Pと言っていますけど、町P連の方を開かせていただいて、5校園のPTA役員さんと学校長、事務の教頭先生等に集まっていただいて、今後のPTAの在り方について協議をしました。

その結果、方向性としては、滋賀県PTA連絡協議会という上部団体があるんですが、そこから脱退するというふうな方向性が出されました。これについては、各5校園のPTAの役員さんにそういう方向性でどうかという案を出したので、協議していただいて、今年度2月に最終の町のPTA連絡協議会がありますので、そこで最終決定をしたいと思っています。

もし県のPTA連絡会から、県Pから脱退となれば、各校園でのPTAの組織は各校園での活動のみとなりますが、存続するかしないかについても各校園に委ねられると。ただ、上の県の方からは脱退していますので、町での

活動となってきますけども、町Pも活動しませんので、各単P、各校園のそれぞれの活動になってきます。

今のところ、こども園、当町にあるこども園は愛育会という形で保護者の組織は残していくという方向ですし、小中学校については、PTAとしては組織しないんですが、学校運営協議会という協議会がありますので、その方を中心として必要に応じて保護者のボランティアを募って行って、いろんな行事に参加していただく、または協力いただくということを考えているという方向です。また詳しく決まりましたら、今年度末には報告させていただけると思っています。

私からの教育長報告は以上です。

何か今のお話でご質問等ありましたら、よろしくお願ひします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○青山教育長 また最後にでも、ありましたらお願ひします。

では、続いて、日程第4 議案第1号についての審議を行います。事務局の方から説明をお願ひします。

○福原教委次長 議事日程、1枚おめくりください。

議案第1号、令和7年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて。

上記の議案を提出する。

令和6年8月22日。

甲良町教育委員会教育長。

令和7年度使用教科用図書の採択につき議決を求めるものでございます。

橋本の方より説明いたします。

○橋本学校教育課長 失礼いたします。お手元の教科用図書採択関係の資料をご覧ください。

こちらの資料は、先日行われました滋賀県第4地区教科用図書採択協議会で選定されました教科用図書一覧となります。

まずは、令和7年度より中学校で使用する教科書の選定結果を基にご審議いただきます。選定された各教科の教科書の発行者名を順にご紹介いたします。選定理由につきましては、前回の採択と異なる発行者のみ、それぞれの教科で2、3ご紹介いたしますので、よろしくお願ひします。

それでは、資料の方をおめくりいただきまして、中身的には採択理由と書いてあるところをご覧ください。

まずは、種目名、国語。こちらにつきましては、前回の採択では三省堂となっておりましたが、今回の採択は光村図書出版となりました。

主な選定理由について述べさせていただきます。情報整理のレッスンと思考のレッスンで様々な情報をどのように収集し、分類するかを学習することで基礎的な知識を身につけ、読むこと、話すこと、聞くこと、書くことの学習活動に活かすことができる。

話すこと、聞くことの学習では、二次元コードから音声や動画を視聴しながら学習する課題が設定されています。

また、学習活動の中で、ICT機器を使って自分のスピーチ等確かめる方法を示すなど、学習活動の指示が具体的であり、学習をより深められるということです。

続いて、種目、書写についてです。こちらにつきましても、前は教育出版でしたが、今回は光村図書出版となりました。

主な選定理由です。各単元に学びのカギがあり、学習のポイントが一目で分かり、書写の知識が身につくように楷書と行書の特徴や違いがまとめられています。運筆動画は上からと斜めからの2方向で視聴することができ、筆遣いと字形の両方が分かりやすくなっているということです。

続いて、種目、社会科に移ります。

地理的分野ですが、こちらにつきましても、前回と同様、帝国書院となっております。

続いて歴史的分野です。こちらにつきましても、前回、東京書籍でしたが、今回は帝国書院となっております。

主な選定理由は、単元を貫く問いの例が全ての節とページ中央部にわたって記載され、どの学習ページからでも確認ができるなど、生徒が学習課題を明確に捉え考えられるよう工夫されています。各章の振り返りの箇所において、章の問いと学習事項の確認に加え、節の振り返りが配置されており、活用しやすい。また、タイムトラベルを利用した振り返りも示されており、生徒の学習が深まるよう構成されています。

続いて公民的分野です。こちらは前回同様、日本文教出版となりました。

続いて地図ですが、こちらも前回と同様、帝国書院となりました。

次の種目、数学ですが、こちらにつきましても、前は大日本図書でしたが、今回は学校図書となりました。

主な選定理由は、各ページにおいて、余白も適当であり、程よくスペースがあり、見やすいレイアウトとなっております。全ての節の終わりに「確かめよう」のページがあり、どのページを見返せばよいのか記す等の工夫がされています。生徒自らが定着のためにも活用しやすいそうです。

問題を見つける、予想する、解決する、新たな問題を見つけるの流れに沿って、数学的活動が示されています。章末問題が基本、応用、活用の3段階

に分けられていて、個人のペースで復習できるようになっています。また、10種類の多様なデジタルコンテンツがあり、ICTによる動画なども興味を引きやすくなっております。

続いて理科です。こちらは前回と同様、啓林館となっております。

続いて音楽です。音楽も前回と同様、教育芸術社となっております。

美術です。こちらは、前回、日本文教出版でしたが、今回は開隆堂出版となりました。

主な選定理由です。コンテンツという二次元コードが設けてあり、動画の視聴を通して作品の制作や作品鑑賞に関する知識を身につけることができます。

1 題材が基本4ページで構成されており、最初の鑑賞でそれぞれの作品のよさを味わい、次に発想を広げて思考を深め構想を練るという流れで、表現と鑑賞の指導の関連を図りながら学習を進める構成となっております。

美術の授業の内容が生活や社会と関わっていることに気づかせるための文言が多く見られます。

続いて保健体育です。こちらは前回と同様、東京書籍となりました。

続いて技術家庭の技術分野ですが、こちらも前回と同様、東京書籍となりました。

続いて技術家庭の家庭分野ですが、こちらは、前は東京書籍でしたが、今回は開隆堂出版となりました。

主な選定理由です。調理の実習例のページのQ&Aでは、生徒が疑問に感じやすいことを分かりやすく説明してあり、主体的に学びが深められ、思考力の育成につながります。

学習のまとめや生活の課題と実践では、手順が分かりやすく、例においても身近な内容で生徒の関心を高める内容である。課題発見解決的な活動のイメージがしやすい。また、様々な社会問題に関する用語について取り上げ、誰もが認め合い、尊重し合えるような社会の構築をめざす視点を重視しています。

続いて英語です。こちらは前回と同様、東京書籍となりました。

続いて道徳です。こちらも前回と同様、あかつき教育図書となりました。

続いて、令和7年度より小学校・中学校の特別教育学級で使用する教科書についてです。

新たに選定された教科書の発行者、選定理由についてご紹介いたします。資料の方は横向きの資料となっておりますので、そちらのページまでおめぐりください。

まずは小学校理科ですが、3年生、「じぶんでよめるしょくぶつずかん」

成美堂出版となりました。

主な選定理由です。自然の事物・現象についての理解を図り、自然を愛する心情を養うという学習指導要領に示された目標と内容に沿っています。草花や木を形や色で比べるなど細かな解説が掲載されており、児童の興味、関心に合わせて活用することができます。四季を通して自然に親しめるよう編成されています。日常生活の中で出会う身近な植物の内容で、実感を伴った理解が図れます。

続いて、同じく小学校理科6年生、「身近なふしぎから宇宙のぎもんまでよくわかる！ なぜ？ ど～して？ 科学の図鑑」永岡書店となりました。

主な選定理由です。自然の事物・現象についての理解を図り、主体的に問題解決しようとする態度を養うという学習指導要領に示された目標と内容に沿っています。実験の際の注意点やさらに知りたい内容の追記もあり、発達段階に応じて学ぶ工夫がされています。身近ななぜ、どうしてが各分野に分けられていて、写真や図などで分かりやすく説明されています。

資料の方をおめくりください。

続いて保健体育です。小学校3年生・4年生、「だいじ だいじ どーこだ？」大泉書店となりました。

主な選定理由です。自分の体は自分のものであり、大切なものというテーマで構成されており、自分の体も友達の間も尊重しようとする内容であり、学習指導要領に示された内容に沿ったものとなっています。

絵本の体裁で挿絵が効果的に使われ、文章が平仮名で書かれています。安心させるような語り口調で表現されているために、児童の発達段階に配慮した構成となっています。

続いて中学校の方です。

種目は美術、2年から3年、「遊べる工作図鑑」日東書院となりました。

主な選定理由です。身近な材料を使って表現能力を養うことができる内容になっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっています。

漢字にはルビが振られており、作成の手順や方法が順を追って分かりやすく示されています。生徒の障害の状況や発達段階に即した内容になっています。

身近な材料を使って実際に遊べるものを作る方法が具体的に示されており、効果的に表現活動を進めることができる内容になっています。

続いて中学校保健体育、1年生から3年生、「イラスト版 からだのしくみとケア、子どもとマスターする58のからだの知識」合同出版です。

主な選定理由です。体の仕組みやケアの仕方、栄養、生活習慣病の予防、

食べ物、予防法など、健康に関する初歩的な事柄が理解できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっています。手書きの図や挿絵により、興味を持って学習できるものとなっています。

また、具体的に取り組むべき行動について、分かりやすい言葉を使って簡潔に示されています。挿絵を見ながら健康や病気、生活習慣病の予防について学ぶことができ、自分の体を大切にしようとする態度を養うことができるものとなっています。

続いて中学校社会です。1年から2年、「旅に出たくなる地図 日本」帝国書院となりました。

主な選定理由です。我が国の自然や文化、歴史、各都道府県のデータや地図などがまとめて示されており、全体を通して学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっています。

説明が短くまとめられて、全てに写真が添えられており、生徒の発達段階に即した内容となっています。多くのテーマについて豊富な写真や絵でまとめられており、情報量も多い。日本地理について多面的に学習できるようになっています。

同じく中学校社会1年から2年、「はじめての日本のれきしえほん」PIE Internationalとなりました。

主な選定理由です。歴史上の出来事を中心に、我が国の歴史の大きな流れを各時代の特徴をふまえて学ぶことができるようになっており、学習指導要領に沿ったものとなっています。

見開きで1つの学習内容が示されており、また、挿絵によって学習が効果的に進められるよう工夫されています。挿絵や図が数多く取り入れられており、当時の社会の様子が捉えやすいよう配慮されています。

最後は、資料の最後のページになりますが、昨年度採用された小学校教科用図書で、令和7年度使用小学校教科用図書採択一覧となっています。

以上となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○青山教育長 説明が終わりましたので、委員の皆さんからのご質問、意見を取り上げたいと思います。ちょっと時間を取りますので、よろしくお願いいたします。

それでは、何かご意見、ご質問等ありましたら挙手をお願いします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○青山教育長 それでは、議案第1号について承認をいただける方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○青山教育長 ありがとうございます。

全員の挙手をいただきましたので、議案第1号は承認されました。

今日の議事日程は以上ですので、これまでに委員の皆さんから何かご意見等ありましたら、お願いします。

(「なし」の声あり)

○青山教育長 そしたら、以上で今日の教育本会議は終了させていただきます。ありがとうございました。